



プレスリリース

札幌商工会議所 定期景気調査(6月)の結果について 2026年度、設備投資を実施予定の企業は52.6%

札幌商工会議所では、会員企業を対象に毎月各業界の業況等を調査し、景況把握に活用しております。

この度、2026年6月分調査を取りまとめましたので、ご報告いたします。

<調査概要>

○調査内容:【毎月調査】 ①6月の業況と先行き見通し
【付帯調査】 ②設備投資の状況
※日本商工会議所 LOBO 調査と同様

○調査期間:2026年6月10日(水)~6月24日(水)

○調査対象:札幌商工会議所会員企業のうち743社

○有効回答数:292社

○調査結果概要:

①6月の業況と先行き見通し:全産業合計の業況DIは▲17.9と、前月から1.1ポイント悪化。先行き見通しDIは▲20.1と悪化の見込み。

②設備投資の状況について

- ・2025年度の設備投資の実績は、「設備投資を実施した」企業が57.1%と、2024年度と比較し5.9ポイント増加した。
- ・2026年度の設備投資の動向は、「**設備投資を実施予定**」の企業が**52.6%**と、2025年度と比較し3.3ポイント増加した。
- ・「設備投資の内容」は、「IT・ソフトウェア」が49.7%と最多、次いで「生産設備・機械」が33.6%となった。生産性向上につながるハード・ソフト両面での投資が上位となった。
- ・設備投資の後押し要因は、「自己資金で設備投資が可能となった」が60.1%と半数を超えており、内部留保やキャッシュフローにより投資が行われていることがうかがえる。

※調査結果詳細は別添資料をご参照ください。

札幌商工会議所定期景気調査(過去の当所調査結果をご覧ください)

https://www.sapporo-cci.or.jp/web/purpose/10/details/post_51.html



日本商工会議所 LOBO 調査 <https://cci-lobo.jcci.or.jp/>

日本商工会議所では、各地商工会議所のネットワークを活用し、地域や中小企業が「肌で感じる足元の景況感」や「直面する経営課題」(採用、設備投資、賃金動向等)を全国ベースで毎月調査する「商工会議所 LOBO 調査」を実施し、その結果を集計・公表しています。

※LOBOとは「CCI(CHAMBER OF COMMERCE AND INDUSTRY)-QUICK SURVEY SYSTEM OF LOCAL BUSINESS OUTLOOK」(商工会議所早期景気観測)からとった略称。



<本件担当>

札幌商工会議所 企画広報部 企画課

TEL:011-231-1360 E-mail:kikaku@sapporo-cci.or.jp